

授業科目 小児科学

【担当教員名】 小田良彦、岩淵真	対象学年	2	対象学科	理学・作業・健康
	開講時期	前期	必修・選択	必修・必修・選択
	単位数	1	時間数	15

<概要>

「子供は大人のミニチュアではない」という言葉があるように、子供の病気は同じ病名でも大人のそれとは異なる病態を持っており、さらに成長とともに病態も変動していく。まず基本を学ぶことが最も大切である。

<学習目標>

疾病の基本の上立って、それぞれの疾患の診断と対応について科学的に検証する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	成長・発達 栄養、保健と予防 小児科学の基本である子供の成長・発達の過程 伝染病の感染予防に重要である各種予防注射		講義（小田）
2	一般症状の観察 救急対応 子供のさまざまな症状を知り、病気の診断に役立てる 心拍・呼吸停止への対処 誤飲・誤嚥時の対処		講義（小田）
3	消化器、呼吸器、循環器系 口腔から胃・腸管の一連の疾患 気管支・肺炎、先天性心奇形など		講義（小田）
4	悪性新生物、血液、腎・尿路、神経系 小児がんの種類と特徴 腎臓疾患と脳神経系の疾患		講義（小田）
5	感染症、アレルギー、内分泌、代謝系 ウイルス、細菌感染症 喘息そ服アレルギ一性疾患 糖尿病などの代謝性疾患		講義（小田）
6	小児外科学 小児の外科疾患		講義（岩淵）
7	周産期医学 周産期障害		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	小児看護学（1）（2）	馬場一雄・吉武香代子	医学書院	2400円
参考書				
その他の資料				
【評価方法】 定期試験による	【履修上の留意点】 授業日程が変則的なので、後日発表される日程表を確認すること。			